

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立西賀茂中学校

4月21日に、本校3年生207名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・数学・理科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

【総合結果（国語・数学・理科）】

国語Aは京都市平均並み、数学Aは京都市平均を1.5ポイント以上上回りました。国語Bと数学Bについては京都市平均に達しませんでした。しかし、理科については全国平均を若干下回る結果となりました。この学年の入学時からの課題であった「基礎学力の定着度」の指標となる「主として知識に関する問題」については、概ね良好な結果が得られました。

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)	理 科
全 国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
京都府	76.7	66.5	65.3	42.5	52.6
京都市	77.0	66.7	65.3	42.9	53.2

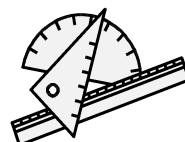
【国語について】



国語Aは概ね良好な結果が得られています。国語Bにおいて京都市平均を若干下回った要因は、「話す・聴く能力」を問う問題において、京都府平均を4.5ポイント下回ったことによります。「書く能力」、「読む能力」を問う問題についてはよくできていました。今まで以上に、自分の意見をまとめて発表したり、他の人の意見をしっかりと聴いて自分の考えをまとめ直ししたりする活動を大切にしていきましょう。

【数学について】

数学Aが京都市平均を上回った要因は、「数学的な技能」を問う問題がたいへんよくできていたからです。いわゆる「計算力」はしっかり身に付いてきたと考えられます。一方、数学Bにおいて京都市平均を若干下回った要因は、「関数の領域」の問題正答率が全体的に悪く、中には全国平均を10.1ポイント下回る問題もありました。特に、「比例・反比例」の問題については、家庭学習などでしっかり復習しておきましょう。



【理科について】

理科が全国平均を下回った要因は、「化学的領域」の問題において全国平均を3.8ポイント下回ったことが大きく影響しています。また、生徒質問紙調査によると、「理科嫌い」の生徒の割合が全国平均を大きく上回っていることもわかりました。理科という教科に対する「興味・関心・意欲」を少しでも高めるために、日頃より積極的に自然体験活動に関わったり、身近な事象について「なぜ?」「どうして?」という気持ちで、科学的に考えてみようとする姿勢も必要だと思います。

【生徒質問紙調査より（1）】

- Q 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか
 Q 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか
 （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

家庭学習の状況（％）		4時間以上	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない	その他	無回答
平 日 （月～金）	西賀茂中		25.6	22.7	26.1	17.8	7.7	0.0	0.0
	全 国		10.4	25.3	33.3	25.6	5.3	0.0	0.1
学校休業日 （土・日）	西賀茂中	10.1	5.3	14.0	21.7	27.5	20.3	1.0	0.0
	全 国	5.5	12.2	24.0	27.0	20.6	10.6	0.1	0.1

「平日、1日3時間以上勉強する」「学校休業日に4時間以上勉強する」生徒の割合が、全国平均より大きく上回っている一方で、「全くしない」と答えた生徒の割合も全国平均を上回っています。特に、「学校休業日には全く勉強しない」という生徒が20.3%もあり、全国平均の10.6%に比べて多く、「家庭学習を行う生徒」と「全くしない生徒」の学力に大きな影響を与えています。

【生徒質問紙調査より（2）】

- Q 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか
（コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）
Q 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

使用状況について（％）		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない 持っていない	その他	無回答
ゲーム （月～金）	西賀茂中	10.1	11.6	20.3	23.2	20.8	13.5	0.0	0.5
	全 国	11.0	9.5	15.8	21.5	25.8	16.2	0.0	0.1
携帯・スマホ （月～金）	西賀茂中	10.1	8.2	12.6	20.3	35.3	13.0	0.5	0.0
	全 国	9.9	8.3	13.1	16.3	30.7	21.4	0.3	0.1

1日1時間以上テレビゲームしている生徒の割合を合計すると、本校は65.2%となり、全国平均の57.8%を大きく上回っています。また、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間も、1日「4時間以上」および「3時間以上4時間未満」の生徒の割合をあわせると全国平均とほぼ同じですが、18.3%は高い割合ではないでしょうか。携帯電話やスマートフォンの所持率は全国平均を大きく上回っており、携帯電話やスマートフォンへの依存症にならないためにも、お子たちの携帯電話やスマートフォンの使用に関するルールについて、ご家族でしっかり話し合ってくださいと思います。



【全体を通した本校の成果と課題】

入学当初、この学年の生徒たちには「基礎学力の定着」という大きな課題がありました。日々の指導方法の改善や、補充学習を実施したりして個に合った指導に努めてきました。また、生徒たちも自らのテスト結果等の成績を振り返り、弱点を補充プリントで繰り返し学習してきました。おかげさまで、「基礎学力の定着度」の指標となる「主として知識に関する問題」については、概ね良好な結果が得られました。今後は、「主として活用に関する問題」に対する対応力の向上をめざして取り組んでいきたいと思っています。

しかし、生徒質問紙結果（1）でも示したように、平日や学校休業日に予習や復習などの家庭学習を「行う生徒」と「全くしない生徒」の学力には大きな差があります。特に、本校では「学校休業日には全く勉強しない」という生徒が20.3%もあり、全国平均の10.6%に比べて多く、ここを大きな課題ととらえています。（※昨年度の3年生の場合も19.5%）

学校として、ある程度の宿題を家庭学習として課すことは必要なことだと思いますが、家庭学習のすべてを宿題に頼ることについては問題があると考えております。生徒一人一人の学習到達度も違いますし、中学校卒業後の目指す進路も多岐に分かれています。やはり、自分の課題をしっかり把握して、今の自分にとって必要な学習に取り組むこと、いわゆる「自学自習」ができるように努力していかなければならないと思います。

社会に出た時には、必ず「自学自習」が必要になります。社会人の仕事のほぼすべてが「自学自習」を必要としているからです。自分で考えて、行動し、失敗して、改善して、また新たに組み込んでいく人を社会は求めています。学校もご家庭でも、このことを意識して取り組んでいきたいと思っています。

【保護者の皆様へ】

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。